

▶▶兵庫県

「小児筋電義手バンク」
の設立

筋肉が収縮するときに生じる微量の筋電位を利用して、本人の意思で指を動かせる「筋電義手」は、約150万円と高額ですが、訓練用のものは公費負担制度の適用がありません。また、子どもは成長に併せて義手の交換が必要なおうえ、訓練に対応した医療機関も限られています。

兵庫県立リハビリテーション中央病院は、子どもの「筋電義手」の訓練に対応した数少ない施設の一つであり、今後、さらに多くの子どもに対応できるよう、ふるさと納税を財源として訓練用義手を貸し出す「小児筋電義

手バンク」を設立しました。寄附者に対し、訓練用義手の貸与の実績、貸与された家族のメッセージ、訓練の様などウェブサイトで公表するなど、取組の内容や意義を分かりやすく紹介するとともに、気持ちを含めたお礼状を送付しています。



子ども用の筋電義手



ひとりでシャボン玉ができるようになりました

注力した点や工夫した点

兵庫県のウェブサイト等に「小児筋電義手バンク」の情報を掲載するほか、病院内でのチラシの掲示や社会福祉事業団のイベントの際にチラシの配布により、取組を周知しています。

Check

取組の効果

「小児筋電義手バンク」設立後、全国から温かいメッセージとともに多数のふるさと納税が寄せられ、平成27年3月から平成29年12月までに「筋電義手」の訓練を必要とする44名の子どもたちに訓練用の筋電義手を無償で貸与することができました。また、この取組が新聞やテレビ等に取り上げられる機会が増え、小児筋電義手の必要性が社会においても認知されつつあると感じています。



乗り物にも乗れるようになりました



ビーズを糸に通してブレスレットを作ることができました

今後、訓練施設を増やしていくことを検討しており、協定を結んだ連携先の病院において、筋電義手を扱う臨床技師の人材育成や筋電義手の貸出を行っていきます。

寄附者の声



・支援の輪が広がり少しでも早く必要としている子どもたちに届けられますように。

住民の声



・義手の貸与者に選ばれた時は大変驚き、喜んだことを覚えております。筋電義手を通じて、いろんな方々のお力、また、人の温かさを痛感いたしました。(貸与者の家族)